

セキュリティ強化策としての ワンタイムパスワード

ネット犯罪対策は、企業の社会的責任として、適切な施策を講じていくことが求められる時代になった。本稿では、年々増加するネット犯罪の動向とセキュリティ強化策について考察するとともに、野村総合研究所（以下、NRI）が提供するワンタイムパスワードソリューション「SecuSURF（セキュサーフ）」（<http://secusurf.nri.co.jp/>）を紹介する。

我が国のネット犯罪の動向

ネット犯罪が後を絶たない。総務省などの発表（「不正アクセス行為の発生状況」）によると、2007年における不正アクセス禁止法違反の検挙件数は1,442件にのぼり、前年に比べ約2倍も増加した（http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080229_6_1.pdf）。かつて不正アクセスといえば、モラルの欠如したハッカーが自らの技術力を誇示するため、企業や公的機関のWebサイトに侵入して楽しむ、いわゆる愉快犯の仕業というのが一般的な見解であったが、現在では様相が一変した。犯罪者は金融機関や電子商取引サイトを運営する企業にターゲットを絞り、はじめから金銭を狙うようになった。

金融庁の調査（「インターネット・バンキングによる預金等不正払戻し（被害発生状況・補償状況）」）によれば、インターネットを通じた預金の不正払い戻しなどの被害発生件数は、2005年度の49件から2007年度には約5倍の231件に達した（<http://www.fsa.go.jp/news/20/ginkou/20080708-1/04.pdf>）。

インターネットが社会インフラとして認知されるようになった現在、消費者向けのネッ

トサービスを提供している企業にとって、ネット犯罪対策は最優先で取り組まなければならない課題のひとつと言える。

ネット犯罪対策の考え方

企業におけるネット犯罪対策は、外部から迫り来る脅威を俯瞰し、複数のセキュリティ対策ソリューションを組み合わせて網羅的に対応していくことが重要である。

また、セキュリティ対策は隨時行っていく必要がある。犯罪者による攻撃手法は日進月歩で進化しており、その種類も年々増加傾向にあるため、新手の詐欺に対する有効な手段を早期に講じていくとともに、継続的な取り組みが要求される。

さらに、企業は金銭などの直接的な被害を防止するだけでなく、ネット犯罪が社会問題化することによる風評被害や企業への不信感からくる利用者数の減少など、間接的な被害を防止することにも留意すべきである。ネット犯罪を恐れて、一度ユーザーが企業のネットサービスを敬遠するようになれば、再び信頼を回復することは至難の業であり、企業にとって損失につながるからである。こうした背景を踏まえ、企業はネット犯罪対策を行う

野村総合研究所
基盤ソリューション事業本部
基盤ソリューション事業一部
副主任システムコンサルタント
鈴掛 亘（すずかけわたる）
専門は基盤ソリューションの企画・
提案・営業



だけでなく、セキュリティ対策を可視化し、ユーザーに対して企業努力を伝えるとともに、目に見える形で安心を強調することも重要な要素となってくる。最近、ネットサービスのセキュリティ強化のために、ワンタイムパスワードを導入する企業が相次いでいるが、ユーザーの信頼向上という面からみても有効な手段のひとつと言える。

効果の高いワンタイムパスワード

ワンタイムパスワードとは、1回限り使用可能な、使い捨てのパスワードのことである。ネットサービスを利用する際、ログイン画面において従来のIDやパスワードに加え、ワンタイムパスワードを入力して認証情報のひとつにするというのが一般的な利用方法である。たとえ犯罪者がフィッシングサイトなどにより他人のワンタイムパスワードを窃取しても、その情報は役に立たない。

フィッシング対策協議会の調査（「フィッシング対策に関する事業者調査報告書」）によれば、事業者が採用したフィッシング対策の効果度を加重平均で比較した場合、ワンタイムパスワードが最も高く、次いでSSL、フィッシング対策ツール・システム、乱数表カードと続き、ワンタイムパスワードの導入効果が高いことがわかる。さらに今後の各対策の強化予定状況では、ワンタイムパスワードは「強化／採用する予定がある」が3割近くと最も高く、ワンタイムパスワードへの潜在

ニーズの高さもうかがえる。（http://www.antiphishing.jp/topics/Phishing_Enterprise_Survey.pdf）。

しかし、ワンタイムパスワードはその実現手段によって課題があった。ワンタイムパスワードを生成する仕組みにはいくつかあるが、利用にあたって物（専用のパスワード表示端末など）が必要な場合、企業は利用ユーザーごとに物を用意し、配付しなければならないため、他のセキュリティ対策ソリューションと比べて高額になる傾向がある。さらに、ユーザーの立場からみると、物の故障や紛失といった事故の恐れがあり、いつも携帯していなければ利便性が低下する。

携帯電話でワンタイムパスワードを取得

これらの課題を解決する手段として、NRIではワンタイムパスワードソリューション「SecuSURF」を提供している。「SecuSURF」は、携帯電話からインターネット接続機能を利用してワンタイムパスワードを取得するソリューションである。

携帯電話という、いまや誰にも身近な存在になった物を利用することにより、企業はワンタイムパスワード導入時の煩わしさから解放され、低コストでサービスを提供することが可能となる。ユーザーにとっても、携帯電話はいつも身に付け、使い慣れた物であるので、利便性を損なうことなく安心してネットサービスを利用することが可能となる。 ■